



2022年12月16日

各 位

会 社 名 株式会社 エプコ
代表者名 代表取締役グループ CEO 岩崎 辰之
(コード番号 2311 東証プライム市場)
問合せ先 代表取締役 CFO 吉原 信一郎
(TEL. 03-6853-9165)

業績予想の修正及び特別利益の発生に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2022年7月21日に公表しました2022年12月期通期の連結業績予想について、下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

2022年12月期通期 連結業績予想数値の修正 (2022年1月1日～2022年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	4,848	125	204	276	31.07
今回修正予想(B)	4,804	83	242	460	51.68
増減額(B-A)	-43	-41	+38	+183	—
増減率(%)	-0.9%	-32.9%	+18.9%	+66.3%	—
参考:前期実績 (2021年12月期)	4,696	437	370	658	73.85

2. 特別利益の発生について

当第4四半期(2022年10月1日～12月31日)において、当社が保有する投資有価証券(ENECHANGE株式)及び子会社株式(艾博科建築設備設計(深圳)有限公司)を一部売却したことで、特別利益215百万円(投資有価証券売却益135百万円及び子会社株式売却益約80百万円(概算額))が発生する見通しです。

3. 修正の理由

通期における利益計画の修正要因は、主に下記の3点となります。

(1) 営業利益の修正要因

メンテナンスサービス事業における営業利益の計画未達 ▲46 百万円

メンテナンスサービス事業の売上高は概ね計画どおり（修正前計画：1,750 百万円、修正後計画：1,758 百万円）に推移したものの、人件費及びシステム関連費用が想定よりも増加したことで営業費用が計画値を超過（修正前計画：1,456 百万円、修正後計画：1,511 百万円）したことによるものです。

(2) 経常利益の修正要因

①TEPCO ホームテック株式会社における持分法投資損益の計画超過+45 百万円

省エネ設備工事（太陽光発電システムや蓄電池等）の受託が新築・既築向けいずれも想定を上回る形で推移したことから、持分法投資損益が計画超過（修正前計画：51 百万円、修正後計画：97 百万円）したものです。

②外貨（人民元）取引に対する為替予約の設定に伴う為替差損益の計画超過+34 百万円

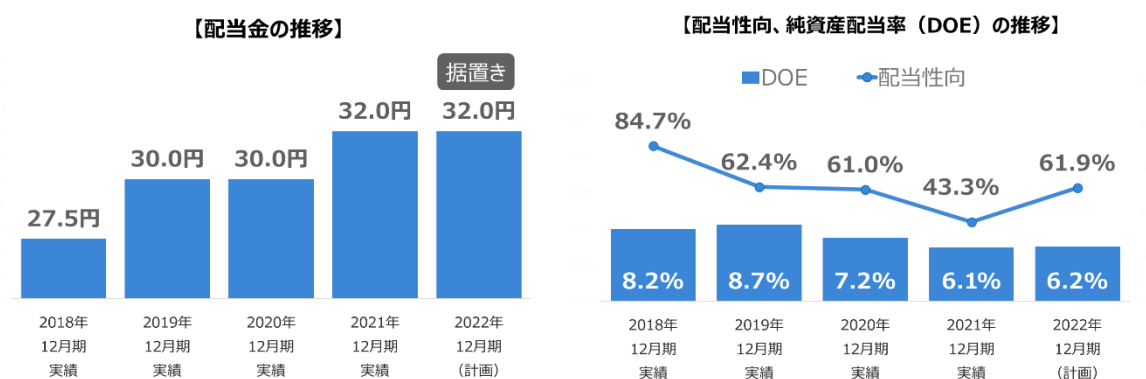
(3) 親会社株主に帰属する当期純利益の修正要因

「2. 特別利益の発生について」に記載のとおり、有価証券の売却により特別利益 215 百万円が発生することによるものです。

4. 2022 年 12 月期における配当予想について

当社は、将来の事業展開や経営環境の変化に対応するために必要な内部留保等を総合的に勘案し、連結配当性向 50%及び純資産配当率（DOE）8%を目安とした利益還元を安定的に実施することを基本方針としております。

本日開示した業績予想の修正に伴い、2022 年 12 月期における 1 株当たり当期純利益（予想）数値は増加しましたが、当社としましては、業績修正後の配当性向（見込）は 61.9%であり、配当方針に定める水準に概ね近似していることを踏まえて、期末における 1 株当たり配当予想額（期末：18 円、年間合計 32 円）は据え置きを予定しております。



※本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づいて当社が判断したものであり、実際の業績等は、様々な要因により異なる結果となる可能性があります。

以上